

## ごあいさつ

平成から令和に変わり、新しい時代が始まりました。

これまでの21年間のあっとほーむでの保育活動、中高生の支援、社会人になった子たちとの交流を通して思うのは、これからの時代に必要なことは、「やりたいことをやりぬく力」であるということです。

なぜなら、私が21年間関わってきた子どもたちの中で、自分に自信を持ち、力強さを感じる子は、必ず「子どものころ、やりたいことをさせてもらえた」と言うからです。

単にマンガを読みたい、カードゲームやテレビゲームをやりたいという事とは異なります。

特に小学校4年生ごろからの思春期に、外に目を向け好奇心旺盛に子ども自身がやりたいと言う事、行きたいという所へ行けるかどうかポイント。親がやれる環境を整えてあげること、親以外の指導者や支援者にたくさん助けてもらうことでやり抜く力が身に付きます。

これまでの常識が通用しない新しい時代を生きるには、このような子ども時代の経験が大きな力になるのではないのでしょうか。

あっとほーむが、これまでずっと、子どもたちの“やりたい事”があり、“行きたい場所”であり続けて来れたのは、いつも新しいことに挑戦し、たくさんの人に助けられてきたからです。

新しい時代が始まった今、私自身も、あっとほーむに関わる子どもや大人も、みんながやりたいことをやり抜く力をあっとほーむで積み重ねられるといいなと思います。

認定 NPO 法人あっとほーむ 代表

小栗 ショウコ



# あっとほーむってどんなところ？

あっとほーむは、  
子育ての  
お悩みを  
解決する  
場所です。

あっとほーむは、  
子育ての  
お悩みを  
解決する  
場所です。



## 仕事も子育ても両方たのしめる社会へ

あっとほーむは、働く女性が仕事と子育て両方楽しめる社会にすることを目的に、1998年に創業したお迎え付き夜間保育&学童保育所です。あっとほーむがある地域は転入者が多く、いざという時頼れる親族、友人がいない家庭が多い土地であることから、実家のように子育てをサポートする場として小さなマンションの二室から活動をスタートさせました。その活動は、小学生の放課後保育、働く女性のための執筆や講演活動、サロンの開催へと広がりました。あっとほーむのような場を他地域に展開するあっとほーむカレッジ及びおうち保育園®協会へと発展しています。

子育て中の働く女性は、子どもに愛情を注ぎながら、やりがいのある仕事を続けることで社会に貢献したいという想いを持ちつつ、日々不安と葛藤を抱えています。これまでと同じように働けない、評価されない、迷惑をかけているのではないかと不安と、子どもを預けてまで働いていいのかという葛藤です。毎日保育園の閉園時間に間に合うように仕事を切り上げ迎えに行き、家に帰ってご飯を作って食べさせてお風呂に入れて、子どもが天使の寝顔になる頃にはもうぐったり。夫婦二人で力を合わせても、心も身体も悲鳴を上げてしまいます。

本来、パパママが一番やるべきことは、笑顔で子どもに向き合うことです。心も身体も悲鳴を上げるその前に、あっとほーむで子どもを保育園にお迎えに行き、ご飯を食べてお風呂に入れば、家に帰ってから子どもとのコミュニケーションやお話の時間がたっぷり取れます。まさに、実家のように子どもたちを受け入れ、保育をすることで、パパママの気持ちの余裕が生まれ、笑顔で子どもと向き合えることにつながるのです。

働く女性が子どもを産んでも仕事を続けられる、2人目3人目の子どもがいても働き続けられるかもしれないと思える社会になれば、日本のGDPは上昇するし、少子化だって解消されます。働く女性とその家族が今日も笑顔で過ごせるように、そして仕事も子育ても両方楽しめる社会になるように私たちは活動を続けてまいります。



あっとほーむをのぞいちゃおう！

## あっとほーむの とある1日！！



パパママが家族のため、社会のため働いている間、あっとほーむでは子どもたちが楽しく過ごしています。どんな1日なのかをご紹介します！！



### 小学校から子どもたちが帰ってきます

「ただいまー！」と元気に帰ってくる子どもたちをスタッフが「おかえり！」と迎えます。手洗いうがい済んだら宿題。みんなでやると集中できる！終わったら、自由な時間！ゴロゴロしちゃってもOK。



### 3時！おやつ時間だよ

スタッフが手作りしているおやつ！特に、月に一度のスペシャルおやつと誕生日会は子どもたちが心待ちにしています。おいしいおやつでエネルギー満タン！！





## 🕒 外あそびへレッツゴー！！

緑いっぱいの公園で走り回ったり、自然あそびをしてあそびます。スタッフが一緒に行くから安心。ゆっくり過ごしたい子はあっとほーむで過ごします。ベランダでは夏は水浴びができるよ～！



## 🕒 保育園や習い事へお迎え 子どもミーティング

保育園や習い事へ車や徒歩でお迎えに行きます。その間に、みんなで明日のスケジュールを確認！今日のありがとうを発表するよ。時々、学校が終わった中学生も遊びに来てくれる！



## 🕒 夜ごはん準備のお手伝い お料理クラブ

小栗さんが夜ごはんを作るのをお手伝い！お料理クラブでは、少し難しいレシピにも挑戦。夜間保育がない子は、パパママがお迎えに来るまでゴロゴロしたり、保育園から帰ってきた子たちとあそびます。





## 🕒 夜ごはんは、みんな揃っていただきます！

できたての温かいごはんをみんなでいただきます！子どもも大人も今日あったことを話して賑やかな食卓。みんなで食べるともっと美味しい。部活後の中学生や高校生もごはんを食べに来ることも。



## 🕒 お風呂、勉強クラブ 楽しく過ごす時間だよ

お迎えまで保育園児も小学生もきょうだいのよう楽しく過ごす時間。お風呂に入る子ども、片付けや掃除を手伝ってくれる子どもいるよ。時々、ボランティアの大学生が勉強を見てくれるよ。



## 🕒 パパママがお迎えに来て、 たのしい1日もおしまい！

おうちに帰ったら、あとはパパママとゆっくり親子の時間が待っています。明日も元気にあっとほーむに来てね！



働くパパママ、子どもたちのために



こんなスペシャルな  
日もあるよ！

あっとほ一むお泊まり会！

お泊まり会恒例、夜ごはんはオムライス！  
夜はテントを張って寝袋で寝る！子ども  
たちがたのしく過ごしている間、パパママも  
ゆっくり素敵な時間を過ごしてね。



長期休みや臨時休校の日は  
朝からオープン！！

夏休みは特に合宿やお出かけ、ミニイベントで盛りだくさんの毎日です。小栗さんの手作りのお昼ごはんも出るから、子どもたちはもりもり食べて、午後も元気に遊べるよ。

台風などで急な休校になっても、あっとほ一むは朝からオープン。子どもたちが安全な場所で過ごせると、働くパパママも安心です！

### ご利用者さまの声

働くパパママにとって  
あっとほ一むとはどんな場所？

「働くママ」の想いを汲んでくれるスタッフさん達がとても素晴らしいです！

Yちゃんママ

困ったな・・・という時に、ちょっと相談してみよう！と思えるところ。体が2つあったら！と思う時に、諦めずに済むように助けてくれるところ。

Aくんママ

手術が終わらなくて帰れない時に、夕飯を出してもらえて預かってもらえるのは心強い！！

Mちゃんパパ  
(医師)

夏はキャンプ、冬はクリスマス会色々なイベントがあり楽しいです。学校が平日休みの時、午前中から見て頂けることも助かります。

Tくんママ

「娘が次はいつ行けるの？」としても楽しみにしている温かい場所です。

4オSちゃんママ

# あっとほーむ卒業生インタビュー



大人になった今も時々思い出す子どもの頃。そこにはあっとほーむでの思い出がたくさん！！  
どんな思い出がある？あっとほーむはあなたにとってどんな場所？成長した卒業生たちに聞いてみました。

あっとほーむでは、毎日出てくる美味しいごはんが大好きです。あまり馴染みのない魚や地元の食材を使った健康的な美味い食事が、野菜に対する偏見を無くしてくれたと思います。



↑あっとほーむに来ていた小学生の頃の写真

20才 ぶぶちゃん

あっとほーむは私にとっても1つの安心できる家みたいな学校。私は小学校1年生頃から中学校2年生まであっとほーむに通っていたので、長い間とてもお世話になりました。  
あっとほーむでは様々な行事を大切にされてきました。特に誕生日の子にメッセージカードを書いてくれた事を覚えてます。そのボードをもらってメッセが沢山の友達からメッセの周りに自分祝って、自分がたくさんいるんだなと実感できました。



↑高校生になった今、ふらっとあっとほーむに来て、趣味の話でどんぐりパパと盛り上がる



↑あっとほーむに来ていた保育園の頃の写真

17才 かいくん

笑。小さい頃は大根が嫌いで、毎回2時間ほどぐずり、かじるのも拒否していました。そんな中あっとほーむでの料理に出会い、今では好物の1つとなっています。  
また、どんぐりパパという名前です。興味のこと、人生のことなどを教えてもらいました。休みの日に横須賀に連れて行って出です。どんぐりパパは僕の人味を持つ良き友人です。

## 思春期の居場所作り

あっとほーむは、小学校高学年、中高生の子どもたちに一軒家2階の一部を解放し、自由に過ごせる場所を提供しています。家や学校以外にも自分をありのままに表現できる居場所があることは、精神的な安定につながります。また、皆様のご寄付で中高生もあっとほーむで夜ごはんを食べてゆっくり過ごすことができます。



↑あっとほーむに来ていた小学生の頃の写真

20才 まゆちゃん

あっとほーむでは、晩御飯を食べ、お風呂に入りました。あっとほーむは家のようなどこでもありながら、いろいろな年齢の人たちがいて、楽しく遊び学べるところです！

いつも感謝でいっぱいです！！



## 2019年もあっとほーむサポーターが大活躍！！

働くパパママ、子どもたちのために活動しているあっとほーむを支えてくれる、あっとほーむサポーターのみなさんの活躍をご紹介します。



ピアノレッスン  
小川先生



アイシングクッキー  
作り Hくんママ



クレイアートレッスン  
Mikan先生



ボイストレーニング  
岩谷さん



お楽しみおやつ作り、  
工作 西澤さん



美容師体験  
ヘアメイクアーティストさん



朗読会 山下さん



両立サロン・ロイヤル  
ミルクティーの日  
Mちゃんママ



工作ミニイベント  
大学生ボランティア  
すいちゃん



工作ミニイベント  
保育サポーター  
西田さん



今後の活動を考えるあっとほーむ作戦  
会議にご協力いただいているほながさ  
んと安田さん

縁の下の力持ち！あっとほーむを支える  
サポーター企業さまはこちら！！

あおい社会保険労務士法人  
鈴木智子公認会計士事務所  
コーチングSERERE代表 大石稜子さん  
株式会社ビー・キューブ 川名マッキーさん  
有限会社有アンドン長 有澤つあ子さん  
みんなのキッチン  
FLOWER GIFT SHOP yuu  
丸紅株式会社  
タスカジ マリリンさん

あっとほーむ卒業生  
元ご利用者のパパママ  
行政のみなさま  
ご寄付をしてくださるみなさま  
あっとほーむの大家さん  
あっとほーむ近隣のみなさま

いつもあっとほーむをご支援いただ  
いているみなさま

いつもありがとうございます。今後とも、  
どうぞよろしく願いいたします。



## 働く女性プロデューサー 小栗ショウコの日常

認定NPO法人あっとほーむ代表理事、ビジネス&ライフコンサルタントとして活躍している小栗さん。今回は、彼女の日常に密着！あなたの知らない一面に出会えるかも。



### Morning 2



新聞や雑誌の取材が入る時も。担当の方が熱意を持って聞いてくれると嬉しい。新しい事を学ぶことや時間を作って読書や勉強会に参加することも忘れない。

### Morning 1



朝はゆっくり起床。午前中はブログや原稿の執筆、セミナーの資料作成など。事務メンバーと法人関連の事務仕事をこなすことも。週に2〜3度はあっとほーむで使う食材の買い物に！

Afternoon  
4



あっとほーむの子どもたちが帰ってきたら、ゆっくり話を聴く時間。5時になったら夕食作り。子どもたちが手伝うことも。その後は、子どもたちと一緒に夜ごはんを食べる幸せな時間が待っている。

Afternoon  
3



お昼過ぎ、スタッフが来たなら保育ミーティング。子どもたちの様子をしっかりと共有します。午後はちよっと休憩タイム。韓国ドラマが大好きで、今年の一押しは「トッケビ」。



Night  
5



小栗さんにとって  
あっとほーむとは？

あっとほーむは私の人生そのもの！単なる仕事ではなく、ここが私の居場所であり、笑顔で楽しく過ごせる場所。子どもたちにも、パパママたちにも、スタッフや関係者の皆様にも、あっとほーむがあってよかったと言ってもらえるのが一番うれしい。



あっとほーむで過ごす夜は日常だけど、やっぱり特別。保育園児、小学生だけでなく、あっとほーむを卒業した中高生、大学生、社会人まで会いに来る。あっとほーむをやっててよかったと思う瞬間。

Saturday  
7



月に一度は土曜日に「仕事&子育て両立サロン」を開催。あっとほーむへの寄付の返礼品や、両立サロンでもお出しするガトーショコラ、シフォンケーキは小栗さん手作り。横浜ミサリングファクトリーで教えてもらいました。

Weekdays  
6



ビジネス&ライフコンサルタントとして事業相談やセミナーを開催。コーチングと統計学で、本人も気づいてない才能を引き出し、自分らしい働き方、生き方を伝授。



Sunday  
8



あっとほーむカレッジの講師として子育て支援で起業したいという人を育成し、起業前後や事業継続のサポートを行なっている。開業した人の訪問支援も欠かさない。

聞いてみました！  
小栗さんはどんな人？

小栗さんはいつもニコニコ穏やかな方です。区役所の廊下で小栗さんの笑顔を見つけると、ホッと安心します。でも、講演をしている時は、キリッとしていてとてもかっこいいです。同じ女性性として憧れの存在です。

横浜市都筑区役所子ども家庭支援課  
係長 石井 泉さん

小栗さんとの出会いは起業家支援プログラム。ピリリとした大人の雰囲気、メンターとして沢山のアドバイスを下さりました。でも小栗さんにはアイデアが次々と浮かぶ純粋な少女の側面も！そのギャップが大好きです。

株式会社タスカジ  
代表取締役社長 和田 幸子さん



行政や企業、大学等で講演する時は、いつも参加者が求めているものを伝えようと心掛けています。たくさん大人の前で話した後あっとほーむに戻ってきて子どもたちに会うと、ホッとリラックスできる。



ビジネスプロデューサー稲葉さんとシンフォニークルーズ顧問・周藤さんとは、よくお食事に行きます。



あっとほーむの子どもたちと行く合宿の下見もする。



休日は友人とゆっくり過ごしたり、キャンプやグランピングで自然を満喫。そして、富士山から力をもらって、明日からも自分らしく頑張る！

## 働く女性支援事業

2019年は、毎年恒例となった「小1の壁セミナー」に加え、大学や高校でも登壇。働く女性自身が才能や能力を活かし、輝く生き方ができるようセミナーを開催しました。また、子育て世代に関する政府ヒアリング調査協力をし、取材や SNS 等では子育て支援者からみた仕事と子育ての両立の秘訣を情報発信しました。

【「小1の壁セミナー」  
小学校入学前に知っておきたい  
大切なこと】

今年で5回目となる都筑区が主催する小1の壁をテーマにした講演会に登壇し、来年度小学校入学の子どもを持つ保護者を対象にお話ししました。今年も3日間で200名以上の方が参加していただき、中には参加してよかった、感動したと感極まっています。また、

横浜市青葉区の認可保育園でも同様のセミナーを開催しました。



【「大学、高校での講義」  
未来を支える次世代へ伝えたいこと】

5月は日本女子大学3年生500人への特別講演「家族と女性の生き方」、8月は神奈川県高校での授業、12月は日本大学商学部吉原令子総合研究で講演「女性のライフステージに伴うコミュニケーション術」を実施。自分たちの生き方や働き方を学ぶ学生たちに、周りに頼り

相談して、たくさんの方に協力してもらって伝えることができました。



【「都筑区民活動センター講座」  
「好き」が人生を動かす！自分らしく生きたい女性を応援】

都筑区地域振興課主催の区民向け講座で講師を務めました。講座の中では、参加した20代から60代までの、これから本気で何かに取り組みたい女性に、何のために生きるのか、何のために働くのかを考えてもらい、自分らしい肩書を作ってもらいました。講座終了後も多くの方が質問や相談に来て、くださり、参加者の本気度を感じました。

質問や相談に来て、



## あっとほーむカレッジ

- ・オープンカレッジ
- ・基礎クラス
- ・応用クラス
- ・ゼミ

あっとほーむのような  
ところをつくりたい

子どもにかかわる  
仕事がしたい



あっとほーむの価値観を広げる  
ことで社会問題を解決する

あっとほーむの活動を続けてきた中で「自分の地域にもあっとほーむのようなところがほしい」という働く女性の意見と、「自分もあっとほーむのようなところを立ち上げたい」という起業希望者からの相談が多くありました。

そこで、あっとほーむに共感し、「自分もあっとほーむのようなところを立ち上げたい」という想いを持つ方に対し、私たちが長年培ってきたスキルやノウハウを伝えることにしました。それが、あっとほーむカレッジです。

あっとほーむカレッジは、起業経験があったり、事業計画や予算を立てられたりする人ではなく、「自信もないし経験もないけれど、あっとほーむのように地域の子どもたちの居場所を作りたい」「自分ができる範囲で地域の親子の支援をしたい」という方を対象として、起業までの支援をするものです。

本カレッジ卒業後、開業してからもつながりをもてるように「おうち保育園®協会」を設立。仲間としてお互いに支えあう関係を作っています。次ページからはおうち保育園®協会の会員を紹介します。

「おうち保育園®」はあっとほーむの登録商標です。

# おうち保育園®協会 会員インタビュー

KADOYA  
おうち保育園®

岩崎 ひろ美 さん

横浜市中区本牧町



岩崎ひろ美さんは、自宅の洋品店の一部を改装して、おうち保育園®を開業しました。実は起業前、あつとほーむマガジンの卒業プレゼンで自分の想いを家族に伝え、「応援するよ」と言ってもらったものの、家族を巻き込んでどうなるかな？と不安な面もあったという彼女。「そんな心配はどこ吹く風。実際は家族みんなで送り子どもたちの相手をしてくれました。」彼女の真剣さが家族に伝わり、「理想としていたカタチになったのです。」

起業してからの振り返り、辛いことや悩みごとを長引かせないことが肝心なのではと話す彼女。「日常の愚痴などは夫に聞いてもらい、事業に関することはシヨウコさんへ相談しています。時には、起業した仲間と連絡をとったり、あとは、仕事とは関係ない友人のおしゃべりが気分転換。最近はヨガもはじめて瞑想もします。」と話します。

また岩崎さんは、起業後初めてお預かりしたお子さんとのエピソードを教えてくださいました。「私がほぼ毎日保育園へお迎えに行き、おうち保育園に戻ってくると軽食を食べ、おうちにいるように過ごすという生活でした。その子の保育中に、新しく利用したいという母娘さんが来て挨拶をすると帰って行きました。すると、その子は急にぐずり、泣き顔に。私が何を言っても聞いてくれずに困っていると、店にいた夫が相手をしてくれてご機嫌が戻りました。その出来事をよく思い返し

てみると、挨拶に来た女の子に私が取られたとやきもちを焼いて起こした行動のようでした。」そんな子どもへの想いを知り、ますます可愛く感じたという岩崎さん。働くママや子どもたちも、家族のように可愛がってくれる岩崎さんに安心し、いざという時も頼れることをどんなに心強く感じたことでしょう。

起業して5年が経つ岩崎さん。最後に未来へ向けての想いを教えてくださいました。「起業当時より自分も体力面で衰えを感じることはありませんが、これからも自分軸を大事にしながら自分にできることを取り残さないように、時には自分だけでは見えない所は、他の人のアドバイスを取り入れながら事業を続けていきたい。そして、世の中の子育てをしているご家族が少しでも、子育てを楽しんでいることが嬉しい。」今後も彼女の活躍で、笑顔で暮らせる親子が増えそうです。



## 「これからも自分軸を大事にしながら自分にできることをやっていきたい」



## お迎え付き夜間保育施設 にじのことり

三井 恵 さん

横浜市青葉区藤が丘

あっとほ一むカレッジを卒業し、子育て支援での起業を果たし、地域の親子をサポートしている4名の特別インタビュー!起業後の思い出深いエピソードや、5年10年先の未来について語っていただきました。

三井恵さんは、起業して4年目を迎えました。起業してからを振り返り、夜間保育の時、子どもたちと食事をし、一緒に遊んだりすることもあったというお母様について語ってくれました。「今年初め、母が亡くなった時のことが一番心に残っています。母は、子どもたちからも「ひでこさん」と呼ばれて人気者。昨年は体調が優れず、別室にいたことが多くなりましたが、子どもたちは大丈夫?と声をかけたり、心配だよと家族に話してくれました。」三井さんは子どもたちが自然に思いやりの心、いたわりの心を身に着けていることを感じました。

「母が亡くなったことを保護者様にお伝えすると、みなさんが丁寧に子どもたちに話をして下さり、子どもたちがお別れをしたいと会いに来てくれました。特に母を心の友と呼んでいた男の子は、葬儀にも参列し、棺を運んでくれました。」三井さんはお母様が最期に、子どもたちへの授業をしてくれたのかなと思ったそうです。「母は、にじのことりにとって大切なスタッフの一人だったんだなと思いました。」

いつもにじのこつりのたのしい様子をSNS等で発信している三井さん。「応援してくれたり、ブログを読んだ人たちが優しい、明るい気持ちになれたら、小さな幸せを分け合っているような気がして嬉しい。」と話します。自分で事業をしていると、一人で考えて煮詰まっ



まい、不安だけが大きくなりがちだそうです。そんな時は小栗さんに相談したり、あっとほ一むカレッジのセミナーに参加します。また、起業した仲間と話すと、前向きになるそうです。

最近では、地域とのつながりが増え、そこで出会う方々から学ぶことや縁も増えました。「子どもに関することや地域振興も学び、将来NPO法人として活動していきたい。また、活動を通して、ママや子どもたちに食の大切さも伝えて行けたら。」と話します。「事業パートナーのふみさんと共に、小さい子どもから高齢者まで地域みんなが生き生きと自分らしく生きていくために、みんなが気軽に集えて笑顔になる居場所を作っていきたい。」と力強く未来について語ります。周囲を明るく照らす彼女の活動を、きつとお母様も笑顔で応援してくれていることでしょう。

# 「地域みんなが生き生きと自分らしく生きていくために」

# おうち保育園®協会 会員インタビュー

はっぴいママ

堀澤 裕美 さん

熊本県荒尾市



堀澤裕美さんは、あつとほーむカレッジを卒業し、働くママをはっぴいに目指して開業。今年で4年目に入りました。開業以前は、認可保育所や病院に勤務する医師や看護師が子どもを預ける院内保育所で3年以上保育士として働いてきた子育て支援のプロ。保育の現場で働くママたちの困っている姿を見てきた彼女は、なんとかしたいと立ち上がり、働くママたちがいざという時も安心して子どもを預けられるように、そして、子どもたちがおうちのような場所で安心して過ごせるようにと、自宅で夜間や休日、病児の保育を担っています。

「実際に開業してみると、困っているのは働くママだけではなく、どこに相談しても対応してもらえなくて悩んでいるママたちに出会いました。困っているママをはっぴいにを事業理念として、ママたちの想いや状況を聴き、自分ができることとできないことの見極めをしながら活動しています。」と語る彼女。「自宅での小さな子育て支援事業ですが、色々な状況のお子さんをお預かりするため、常に最新の情報や知識が必要で、県や県保育協会主催の研修に参加しています。」と話します。

また堀澤さんは、「保育士として勤務していた時の同僚やその時の保護者とのつながりで、困っているママたちと出会うことができ、事業を始めた時の思いが届いた気がして嬉しかった。」と、起業

後の思い出を話してくれました。「自宅で事業をするということで、家族にも配慮してきました。」と言います。あつとほーむカレッジの卒業式で家族の前で事業プレゼンを行い、自分の想いを伝えることができたことで、家族も活動を手伝ってくれているそうです。

多くの困っているママたちを見てきた彼女は、少人数で子どもたちを丁寧に保育できるおうち保育園のような場所がもっと増えたらいいなと感じます。「自身の年齢を考え、体調管理をしながら、今後も支援が必要な方々へ向けてはっぴいママの活動に取り組みたい。」という堀澤さん。辛い時や悩んだ時も支えてくれた事業パートナー、かよちゃんとともに、地域の困っているママたちの心強い味方となってくれることでしょう。



## 「事業を始めた時の思いが届いた気がして 嬉しかった」



## NPO法人 アフタースクール にじのいえ

宮尾 智美 さん

大阪府高槻市

あっとほ一むカレッジを卒業し、子育て支援での起業を果たし、地域の親子をサポートしている4名の特別インタビュー! 起業後の思い出深いエピソードや、5年10年先の未来について語っていただきました。

にじのいえを開業して4年目になる宮尾智美さんは、これまでを振り返り、子どもたちの成長を間近で感じ、「日々愛情を持って関わってきてよかった。そして、起業してよかった。」と感じるそうです。「自分のやりたいことを、自分のペースで仕事にでき、家族の時間も大切にできる。そして、働くママ・パパ、子どもたちのお役に立てていることが何より幸せ。」と話します。

また、「家族が一番のサポーター」と言う彼女。「家族は起業前も応援してくれていましたが、私の活動への理解も年々深まり、主人が今では一番の理解者です。二人の娘は大きくなったらにじのいえのスタッフになりたいと言ってくれています。」と話してくれました。

順風満帆に見える宮尾さんですが、事業のことで悩んだり、辛いと感じることもありました。「そんな時はまずは自分でしっかりと考え、答えを導きだします。自分で事業を行うというのは、選択と決断することの連続ですが、それでも、どうしても前に進めず、背中を押してほしい時があります。そんな時はいつもあっとほ一むの小栗さんに相談しています。」と話します。

「自分一人では決して事業は行うことができません。たくさんの方が自分のことを支え、応援し、助けてくれるからこそ安定して続けられる。事業が大きくなっていったとしても、すべての人、事柄

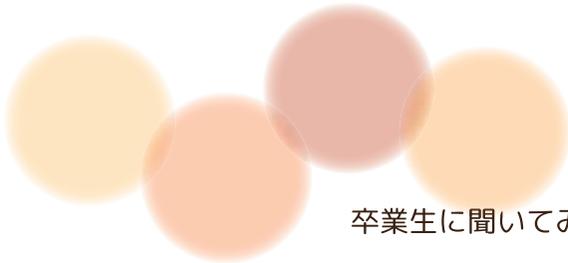
に感謝の気持ちを忘れずにいたい。」と話す宮尾さん。

これからの活動を考え、「にじのいえを卒業した子どもたちがいつでも帰って来られる場所になりたい。にじのいえの活動が働くママの安心とゆとりにつながるよう、その時その時のニーズをキャッチしながら活動していきたい。」と語ります。彼女は、子どもたちの個性の違いや本来持っているものを認め、子どもたちの成長に伴って適切な関りができるようにと学ぶことも忘れません。

本気で子どもたちの教育や保育について真剣に考え、子どもの声に耳を傾けられる大人が増えること、そして、安心して子どもを預けることができる場が増え、子育て中の働く女性がより生きやすい社会になることを願いながら、行政や小学校、地域と連携し、これからは宮尾さんの活動は力強く進んでいきます。



# 「すべての人、事柄に感謝の気持ちを忘れずにいたい」



卒業生に聞いてみました！

あっとほーむカレッジを受講してどう変わった？  
今後どんなことをしたいと考えている？



あっとほーむ  
カレッジ

卒業生  
インタビュー

私は当初開業する予定はなかったけれど、講座の中で小栗さんの「何もできないと思っている人でも、必ず何か役に立つことはある」という話を聞き、私にもできることが何かあると思えるようになりました。

卒業後、保育士の勉強をしながらファミリーサポート会員として活動した時、お預かりした子どもたちと我が子がとても仲良しになってくれて、長男が「楽しかったなあ。またやってよ！」と言ってくれました。すごく嬉しくて、私がやりたいことを再確認できました。

現在は保育園で働きながら子どもたちの関わり方などを学び、2020年の夏ごろに開業を目指して活動しています。

わたなべ かえ  
8期卒業生



卒業して、自分のやりたかったことが明確化しました。私は子どもに教えたり伝えたりすることが好きなので、子育てで悩んでいるお母さんの力になりたいと改めて思いました。プレゼンやパワーポイントにも挑戦し、自信にもなりました。

これからブログなどで協力者に発信し、子どもたちの居場所、子育て相談を気軽に出来る母の居場所作りを実現したいと考えています。

長屋 明美  
13期卒業生



受講する前は、子どもたちの習い事の「送迎」をしてあげること、働くママ達の応援ができないかと思っていました。受講したことで、自分にはもっと出来ることのある事に気づきました。

今後は、子どもたちの未来のために、産後の女性が生きがいを感じて働ける環境を作っていきたいと考えています。あっとほーむのような場所を各地に作りたいというのも、その中の一つですが、「私にだからできること」を事業化していきたいと考えています。

まみーずスクール代表・吉川 真奈美  
10期卒業生



あっとほーむカレッジは私の新しい人生のまさに入口でした。狭い壁をいい意味で壊していただき、色々な角度からのアドバイスをいただきました。小栗さんが強調されていたこと、つまり理念を持つこと、人との繋がり、発信すること、勉強し続けること、これらは今の私の行動の基礎になっています。

今は来年のフィリピン移住とそこでの子どもに関する事業の準備として、放課後保育や子供の自主性などについて勉強中です。

谷 篤  
13期卒業生



子どもに関わる事業を始めたいなら、あっとほーむカレッジ！

<https://www.npoathome.com/childcareworker-service.html>

# おうち保育園® 協会会員活動紹介

(2019年12月現在 あっとほーむカレッジ卒業生 52名・開業者 24名)

困った時こそ頼ってください!



台風の被害で学校が休校になった時も朝から子どもたちをお預かり。困った時も実家のように子育てサポートしてくれるから働くパパママが安心して子どもたちを預けられる。

**いわき市  
正月町おうち保育園®**

あっとほーむカレッジを卒業し、開業したみなさんの活動をご紹介します。

自然の中で生きる力を育む!



大自然の中で毎日活動する子どもたちは生きる力を育み、時に大人も驚く成長を見せてくれます。親子の自然体験イベントや子育てに関する情報発信で地域の親子をサポート!

**山口市  
特定非営利活動法人もりのこえん**

長期休みもサポート!!



去年開業し、今年春から本格始動。市内唯一の20時までの学童保育、習い事の送迎、食事・おやつを提供。長期休みも朝からオープンし、働くママとその家族の心強い味方に。

**茨城県守谷市  
つむぎのおうち**

地域の子育てを応援!!



働くママのあったらいいなを詰め込んだ民間学童保育とコミュニティースペースの運営で、地域の親子をサポートしています。毎月、ママだけでも、親子でも楽しめるイベントがたくさん!

**市川市  
せかんどほーむ**

地域の癒しの場



誰もが愛される存在だと気づける場所を理念にききみみサロン、少人数の茶話会、個別傾聴など実家の様な場を作っています。周りの目を気にせず自身の生き方を見つける場所です。

**東京都中野区  
ききみみ頭巾**

各会員情報、あなたの町の頼れる子育て支援者はこちらから。



子どもをもつ女性が、  
社会で活躍できる機会を増やしたい  
**おうち保育園®協会**

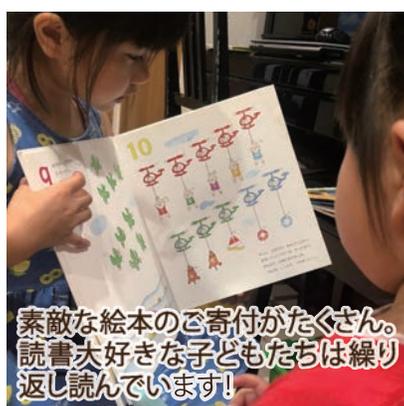
<https://ouchi-hoikuen.org/memberlist>

いつもご支援を賜りありがとうございます。皆様からのご寄付をどのように使わせていただいたか、その一部をご紹介します。皆様のお気持ちが、子どもたちの笑顔につながっています。



20年以上使用してきた衣類乾燥機が故障を繰り返すようになり、新しい乾燥機を購入するために皆様にご寄付をお願いしたところ多くの方からご支援いただきました!

おかげさま  
の  
きろく



素敵なお絵本のご寄付がたくさん。読書大好きな子どもたちは繰り返し読んでいます!



夏合宿の一部費用にご寄付をさせていただきました。おかげさまで今年もぐ〜んと成長!



たくさんいただいた毛糸のご寄付!工作にも使えるし、編み物もできる!さて、何を作ろうかな~!



みなさまのおかげでこんなに大きくなります!



お絵かき大好きな子どもたち! コピー用紙、画用紙、色鉛筆、カラーペンのご寄付が嬉しいね!



農家さんやご寄付の野菜は新鮮でおいしいものばかり!今日もおかわりする子でいっぱい!!

あっとほーむスポンサーになろう! ご寄付方法を選べます。

【Amazon Pay、クレジットカードで寄付する】  
あっとほーむホームページから簡単にご寄付いただけます。  
<https://www.npoathome.com/contribution.html>



【銀行振込で寄付する】  
※ いずれも名義は、「特定非営利活動法人あっとほーむ」  
★三井住友銀行  
港北ニュータウン支店 普通 0365271  
★三菱UFJ銀行  
港北ニュータウン支店 普通 062222  
★ゆうちょ銀行  
10900-1934141

ありがとう



※あっとほーむへのご寄付は寄付控除が受けられます。毎年1月に寄付金受領証を送付しますので、ご寄付の際は誠にお手数ですが、ご住所・お名前をお知らせください。